

だい しょう わたし
第1章 私のまち みんなのまち

【わたしのす　　ようす　　しら　　私たちの住むまちの様子を調べよう】



やくしやまほうめん　　み　　きこない　しょうがっこう
薬師山方面から見た、木古内小学校

私^{わたし}たちが、毎^{まい}日^{にち}暮^くらしているま^まちには、ど^どのよ^ような場^ば所^{しょ}があ^あり、人^{ひと}はど^どのよ^ように働^{はたら}いているのでしょ^しうか。

まちの様子を知るために、学校や家の周りを歩いて、どんなものがあるか調べましょう。その後で、「私たちのまち」について、気づいたことや知っていることを、みんなで話し合ってみましょう。



わたし
私たちの住むまちの
ようす
様子を調べよう。

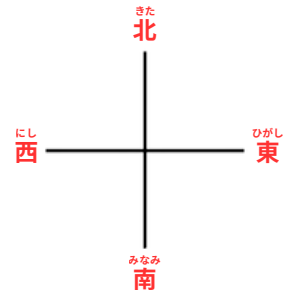
参考：方位について



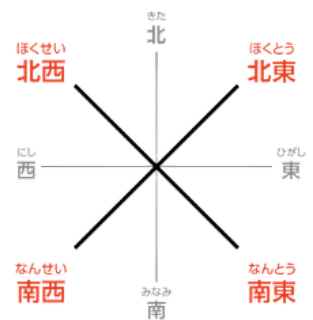
ひがし に し みなみ き た
東 ・ 西 ・ 南 ・ 北

みなさんが地図を見たり、まちを探検したりするとき、「どっちの方に行くのかな」と考えることがあるかもしれません。このときに使うのが「方位」です。

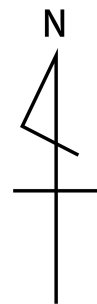
方位には、まず「4つの基本」東・西・南・北、があります。これを四方位と言います。方位は、方位磁針で知ることができます。



さらに細かく、四方位の間にななめの方角を4つ、南東・北東・南西・北西を決めて、四方位にこれらを加えたものを八方位と言います。八方位を使うと、よりくわしく方位を表せるようになります。



右の記号は、方位記号と言います。これは、「地図の中でどちらが北か」を示すための目印です。図の中の「N」という文字は北を表しています。



第1章 私のまち みんなのまち

【^{わたし}私たちの^きお^い気^{ばしよ}に入^りの場所】

今日は、みなさんが^す住^{きこない}んでいる、木古内のまちについて調べます。木古内町にある、一人ひとりの^{じぶん}自分のお^き気^い入^りの場所を^{おも}思^だい出して、^あしょうかいし合^あってください。そのあとで、^{ちず}地図^{つか}を使って、^あしょうかいし合^あった場所が、^{がっこう}学校^みから^{ほうい}見てどの^{しら}方位^{ほうい}にあるか調べましょう。



ばくは^{えきまえ}駅前^すが好きです。^{かもつれっしや}貨物列車^みが見^{きしや}えるし、^{しんかんせん}汽車^{おと}や新幹線^きの音^きが聞^{きこ}こえるとワクワクします。



りくさん、^{えき}駅^{わたし}は私^いもよく行^{ばしよ}く場所^{えき}です。駅^{がっこう}は学校^{ほうい}から^{ほうい}見てどの^{ほうい}方位^{ほうい}にありますか。



^{ほうい}方位^{きた}とは、北^{にし}とか西^{にし}といった^{ことば}言葉^{あらわ}で表^{ちず}します。地図^みで^{えき}見^{がっこう}ると、駅^{なんせい}は学校^{なんせい}の南西^{なんせい}にあります。



^{みなみ}南^{ひる}とは、おおよそ、お昼^{たいよう}に太陽^みが見^{ほうい}える方位^{ほうい}のことです。また、^{なんせい}南西^{みなみ}は、南^{にし}と西^{にし}の^{ちゅうかん}中間^{ほうい}の方位^{ほうい}です。



^{がっこう}学校^みから^{えき}見て、駅^{おな}と^{ほうい}ほぼ^{みち}同じ^{えき}方位^{えき}に道^うの駅^うもありま^うす。道^{みち}の駅^{えき}では、^{おみ}おみ^{やげ}やげも^たたく^{さん}さん^う売^うられてい^うて、^{おお}多^{ひと}くの^た人^よが立^よち寄^よります。

第1章 私のまち みんなのまち

【白地図を見よう】

白地図とは、文字も色もない「まっ白な地図」のことです。下にあるボタンを押すか、二次元コードをスキャンするとアプリを使って白地図を見ることができます。

白地図
二次元コードはスキャン



地図を使うインターネット上のアプリには、見たい場所の大きさを換えたり、表示する場所をずらすことができ、自分の家の近くを表示できるものがたくさんあります。



学校は、上の白地図の中のどこにあるのか、地図の中の道や川の様子などから考えましょう。あわせて、みなさんのお気に入りの場所が、学校から見てどの方位にあるか調べましょう。

第1章 私のまち みんなのまち

【まちを^{たんけん}探検してみよう】

外に出かける^{まえ}前に、探検する場所の様子を予想^{よそう}しましょう。行こうとする場所には、どんな^{たてもの}建物がありますか。大きな建物、周りに^{ちゅうしゃじょう}駐車場の^{たてもの}ある建物、お店などでしょいか。



道路には、バスが通れる^{ひろ}広い道路もあれば、自動車^{じどうしゃ}が通りにくい、せまい道路もあると思います。



建物の種類には、郵便局や道の駅、コンビニエンスストアなどがあります。他にもさまざまな^{たてもの}建物があるので、様子を地図に書きこみたいと思います。



曜日や時刻を^{かんが}考えて、何台くらい自動車^{じどうしゃ}が止まっているかなどを予想し、その予想が正しいか調べてみても良いですね。その場所には何人^{なんにん}来ているかも調べられそうです。



どんな場所を^{たんけん}探検したいか、みなさんで話し合っ^{はな}て、探検するコースを決めましょい。



木古内小学校



木古内駅

学びのポイント

学校の周^{まわ}りの様子^{ようす}を予想^{よそう}し合^あい、探検^{たんけん}の計^{けい}画^{かく}を立^たてよう。

学校の周^{まわ}りを探検^{たんけん}して、見^みつけたことを白^{はく}地^ち図^ずに書^かきこまう。

第1章 私のまち みんなのまち



道の駅 みそぎの郷 きこない



郵便局（駅前通り）



スイーツギャラリー北じま



コンビニエンスストア（駅前通り）

コースが決まったら、グループになって、実際に学校の周りを歩いて探検してみましょう。交通事故にあわないため、車や他の歩行者に気をつけてください。

探検に行く前に、どんなことを調べたいのか、建物が集まっている場所なのかなど、予想したことを、まとめて持っていきましょう。探検中は、予想したことが的中したかどうか、新しく見つけたことなどを、忘れないうちにメモしましょう。

写真を撮るときは、人の顔を無断で撮らないようにし、一般の人の建物の敷地に断りなく入らないように気をつけます。

参考：地図の「縮尺」について



地図の右下にある、200mや100mと書いてある黒い線のようなものは「縮尺」といいます。地図の上の長さが、実際にはどれくらいのきより（メートル、キロメートルなど）であるかを表しています。

みなさんの使う地図帳の地図にも、目盛りのついた縮尺がついています。その縮尺を使うと、地図の上の長さをもとに、実際のきよりを知ることができます。



第1章 私のまち みんなのまち

【結果を白地図に書きこもう】

教室に帰ったら、探検で見つけたこと、気づいたことを、白地図に書きこみましょう。学校、コンビニエンスストア、橋、お店、それぞれ、様子が違いますね。



多くの人が入れる建物は、どんな種類の場所だったかな。



広い道とせまい道はどのように使い分けられていたのかしら。



神社は階段の先の高い所に建物があって、静かでした。高い所は、見晴らしが良かったです。

学びのポイント

探検したときに気づいたことを白地図に書きこもう。

完成した地図を見て、学校の周りの様子について話し合おう。

白地図
二次元コードはスキャン

ここを
クリック



ワークシート
二次元コードはスキャン

ここを
クリック

